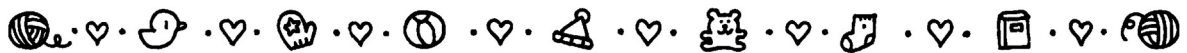


2024 年度 12 月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ

朝晩の寒さも日に日に増し、秋だと思っていたらあっという間に冬らしい季節になりましたね。保育者が“園庭いく？”と聞くと“行く行く！！”と大盛り上がりで気温は全く気にしていないようです。園庭に出ると、落ちているはっぱや新しく購入した季節の花にも気づいていました。“なんで赤いの？”“なんでこれあるの？”となんでなんで攻勢が続きます。季節の変わり目は子どもたちにとって不思議がたくさんで、また新たな発見の場でもあります。この冬、どれくらい多くの“なんで？”を見つけてくれるのか、大人の方もワクワクしています。お家でも面白い“なんで？”があったらぜひおしえてください！



ト・モ・ダ・チ？

約半年間、同じクラスで過ごしてきました。少しずつお互いの事も分かってきて、お友だちとの関わり方も変わってきました。今までは「平行遊び」といわれる同じ場所で同じおもちゃを持っています。が、それぞれが違うことをしている状態でした。しかし、最近では“友だち意識”が芽生えてきました。遊びの面白さ、コミュニケーションの取り方、日々の動きなどを見て「あ」なんか気が合うかも！！と思うお友だちができてきました。おままごとで同じ“オムライス”ご飯をつくって楽しんでいました。「あとスープがないよ」「あ、そっか」とお互いのイメージが合致するような言葉が出ています。またある時は、園庭ではお互いに持っているはっぱの違いを見比べていました。「あか」「きいろ」と色や形のの違いに関して2人で考察を深めていました。また室内ではコンピカーを横に寝かせてハンドルとタイヤの連動を調べていました。共通の遊びを通して共通の趣味を持つ友だちに出会い始めています。友だちとの関係の楽しさを知りドンドン遊びが広がっています。

人気の手？あそび

いまクラスではまっているものがあります！それは「にらめっこ」です。だるまさん♪だるまさん♪と歌って保育者が顔を隠していると、顔を隠した布の向こうでスタンバイしている子どもたち。あっぴゅ♪の合図に合わせて結構全力で変顔をしてきてくれます。保育者の顔を見て笑うだけでなく、友だちの全力の変顔もかなり面白いので笑いが巻き起こります。お家でもぜひやってみてください！



太鼓の達人

夕方になると今までダンスに使っていた曲を使って、棚を太鼓に見立てバチで叩いて遊んでいます。一番人気は“おどるぼんぼこりん”と“おもちゃのチャチャチャ”です。体や肩を揺らして、全身を動かし“ドンッ！”“カッ！”“連打～～！”太鼓の達人の様にバチを動かしています。保育者の真似をしていた子も、最近はリズムに合わせて自ら叩く様子も増えていきます。将来有望なドラマーがたくさんいるようです。